

おおたオープンファクトリー 顛末記

信弘電材株式会社

岸 信之

天気が良ければ、10月26日にはおおたオープンファクトリーが開催されていました。

台風27号により10月24日の午前中に中止の連絡。

当社は、今年から地元の先輩・伊和起ゲージ・広瀬社長の命令により参加することになりました。

詳しくは <http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/mono/openfactory.html> をご参照ください。

9月9日に下丸子・工和会館にて初顔合わせ。まあ地元なので、ほとんどの方と面識がありました。たまたま座った同じテーブルに美人女子学生が居たのが、今回の主人公、首都大学東京・大学院生のJさん。

結構振り回されました…

当初の予定では、短時間の工場オープンとアクリルで作ったジェンガもどきを展示する事だったが、いつの間にか「クリエイティブツアー」に組み込まれました。

キャッチフレーズは、

「大田のモノづくりが持つ加工・製作技術と創造的なアイデアの融合に関心のあるデザイナー・クリエイター・エンジニア等を対象としたツアーです。異なる加工技術を持つ4工場を巡り、その多様性を体験し、アイデアを形にする現場を見ることが出来ます。」



写真は、打ち合わせをする筆者と院生たち。

10月17日の報告では、11名が「クリエイティブツアー」に参加するとの事。少なくとも、当日までに職業は聞くように、担当学生のJさんをお願いしました。

18日は、私、三陽機械・小嶋さん、福井精機・福井さん、横浜国大・準教授野原先生、そしてJさんの5人で、矢口の「吹上」で打ち合わせ。残念ながら室賀シボリさんは欠席。お会いしたかった～。

普段接する機会の無い、大学の先生と大学院生と鴨鍋を突きつつ、楽しいひと時でした。加工の話が一切出なかったのも、新鮮で且つ違う目線ってのも気づかせて貰いました。

当日は武蔵新田・下丸子のあちこちに右の写真の様な幟がはためいた事でしよう
当社の御近所では、当社を含め四社。もし台風の影響が無ければ、



台風26号が、10月16日に大島町に甚大な被害を及ぼしたのを踏まえつつ、27号が発生した事で、実行委員会では当初10月25日昼に開催かの判断を出す事でしたが、28号の発生によって前倒しになり、24日午前11時44分のメールで、開催中止が決定しました。

昼前、Jさんから元気の無い声で電話を貰いましたが、意気消沈するJさんに「自然には逆らえないね」と、言うのがやっとでした。もう少し気の利いた一言でも言えなかったのか、自分のボキャブラリーの無さに後悔。

夕方、工和会実行委員会からも中止決定のFAX頂きました。

11月6日 久しぶりのJさんからメール。

>この頃めっきり冷え込んで参りましたが、風などひかず、お元気でお過ごしでしょうか。(原文まま)

世の中には、こんなメールを書いてくる24歳も居るんだなど、感動しました。まだまだ日本は捨てた国では無いなど、夜の蒲田の水割りのグラスの向こうに、自称二十歳の盛りガールの笑顔に乾杯。(終)